

2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.001

釣行月日: 2009年05月23日(土) 09:00~18:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 17.5℃

河川: 杖立川 (大分県)

水況: 濁有

釣果: 49尾, サイズ: 10cm~22cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.2, 複合メタル0.05

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今シーズンの始まり。天然遡上を狙って行く。釣り人居るか居ないか程で関西では考えられない状況。罎4尾1000円。しかし罎には大きすぎる感じ。鼻環は遊動式を使うことにした。最初は掛かるパターンを掴むまで時間が掛かるが、それ以上に掛かって獲りこむときに糸が切れるトラブル続出で鮎が増えない。午前中まで2尾と情けない結果。根掛かりしても回収できる場所でやって戦力を増強することに。ようやく数も増えてきて余裕が出てきた。50尾としたかったが1尾が掛からず。トラブルを最小限にしておけば60尾は行けたかも? 明日, 再挑戦だ。



No.002

釣行月日: 2009年05月24日(日) 08:00~18:00

天気: 晴後くもり, 気温: ?, 水温: 17.5℃

河川: 杖立川 (大分県)

水況: 濁有

釣果: 52尾, サイズ: 10cm~25cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95, VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.2, 複合メタル0.05

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日は日曜日とあってか昨日より釣り人が多いといっても空きは十分くらいある。日が陰ると風が冷たく感じる。掛かる所は瀬で石の周辺か岩盤の周辺のみ。居ればゴーンと勢いで追ってくる。まだ5月というのに最大25cmが掛かった。夏には30cmになっていたかもしれない。昨日, 大山川ではもう尺鮎が掛かったとのこと。 <http://blog.matsuo.shop-pro.jp/?cid=6924>



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.003

釣行月日: 2009年05月30日(土) 07:30~19:00

天気: 晴後くもり時々雨, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 37尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

解禁後の土曜日というのに釣り人が殆ど居ないのは不気味な感じだ。皆、日高川へ行ってるのか? まずは藤内オトリ店で挨拶してボダイ・カワガセ~前川橋まで釣り下って1尾しかならず。次は吉原周辺へ行き数尾追加したが、ここもイマイチ。さらに場所移動し新金屋大橋まで来てしまった。

ポイントと時間によっては入れ掛かりの所もあり何とか30尾を超えることができた。



No.004

釣行月日: 2009年05月31日(日) 08:30~18:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 19.5℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 25尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

朝一は吉備中央大橋上流に入ることにした。明方に降った雨の後でくもりの状態。昼からは晴れの予想。チャラ瀬でやることに。1尾めはバレル。2尾めは取り込めた。しかし掛が悪くオトリに使えない。入れ掛はないがポツリポツリ掛かる。昼頃に12尾とあまり冴えない。昨日の所へ行ってみることに。

今日は当たりが殆ど無く厳しかった。一度掛けたら回復までに時間がかかるのか?

減水で青藻が糸や針に絡んでやりにくい。一度増水しないと鮎の成育にも影響が出てきそう。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.005

釣行月日: 2009年06月06日(土) 07:15~17:50

天気: くもり後晴, 気温: ?, 水温: 17°C

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 15尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今年初めての熊野川となる。本流へ入るがいつも掛かる所で待てど掛からず。他の釣り人らも竿が曲がるのが見られず、何処も厳しそう。何時のまにか人も少なくなってきた。午後からは陽もさすようになってきて、鮎の活性が良くなり掛かるのを期待したが厳しい。何とか粘って15尾がやっとといったところ。まだ鮎が若すぎるのか、少ないのか?



No.006

釣行月日: 2009年06月07日(日) 08:15~17:50

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 17°C

河川: 赤木川・四村川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 45尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨日の貧果ショックで何処に行こうか悩む。大村屋で朝食でボリューム満点のカツカレーでお腹いっぱい。まずは殿が入った支流へ行くが、掛かるところはヘチのトロ中心に掛かったけども11時までやって5尾と疲れだけが出る。上流へ行こうと思えども去年の四村川が忘れられず行ってみる事にした。現場に行つて愕然。水が少なすぎ。先週の天気予報が外れ予想外の快晴で暑すぎる。100m位歩いてみたが水が無い。小さい鮎が群れでフラフラしてるけど掛からないだろうなあ。と思いつつ、とりあえず下から上へ泳がせてみる。まぐれで掛かった。え~, と思いつつもう一度下から上へ泳がせてみるとまた掛かった。まぐれでなくこれは入れ掛かりへと繋がった。1時間10尾ペースで掛かった。しかも結構良型で、当たりも強烈で今までの不調を吹き飛ばしてくれた。それにしても一雨欲しいところだ。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.007

釣行月日: 2009年06月13日(土) 08:15~17:50
 天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 19℃
 河川: 四村川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し
 釣果: 37尾, サイズ: 10cm~20cm
 仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:
 谷口オトリ店に到着すると、昨年知り合ったNさんがこれから釣りに出かけるところだった。話によると、昨日四村川で28尾で型も良かったそう。今日は本流へ入るとか。自分は四村川をちょっとばかり開拓を含め初めてのポイントに入る。良さそうに見える場所も実際その場へ立つと掛かりそうもない雰囲気。色々歩き回って13尾と歩き回ったわりにはあまり良くない。

先週の所へ行ったが、前回の様にテンポ良く掛かってくれなかった。水も若干高くなって良さそうに見えたが・・・まだ何処も群れている鮎が多く釣り辛い、これがバラけた時は相当面白そうだがどうなることか？



No.008

釣行月日: 2009年06月14日(日) 08:00~18:10
 天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 19℃
 河川: 大塔川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し
 釣果: 40尾, サイズ: 12cm~21cm
 仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:
 携帯を忘れてきたので何処にも連絡が取れない。たまにはこういうこともいいかあ。今日はおっちゃんと大将が熊野に来られるそうで、釣り場所で落ち合う予定。オトリ缶を浸けてたので着替えてとりに行って現地へ向かおうと橋に差し掛かった所で運悪く出会う。天然オトリを奪われ釣り開始。何処を攻めようかと歩き回ると、大きな淵があった。とりあえずやることにした。予想外にテンポ良く掛かる。型も18cm級と申し分無い。1尾坊主ハゼに絡まって引き寄せたら切れる。7尾が6尾となる。場所を移動中、浅場に群れ鮎が見えたのでオトリを泳がせてみると2m程泳いだところで掛かる。その後数尾掛かる。その下へ移動して流れのややきつい所でやったがトラブル続出で3尾連続マイナス。10尾になってしまう。さらに下へ下って岸の際をやって3尾入れ掛かるが、後が続かずその後は坊主ハゼの猛攻に遭う。最初の場所へ戻りやるとまた掛かり、場所を行ったり来たりを一日繰り返し時間をずらして鮎の様子を観察しながらやってみた。結構な数のトラブルで鮎を損失したが何とか40尾まで稼げた。全体的にトロ場が良かった。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No. 009

釣行月日: 2009年06月20日(土) 07:30~16:30

天気: くもり, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 野洲川(滋賀県)

水況: ほぼ平水?

釣果: 13尾, サイズ: 13cm~18cm

仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

明日は上桂川の解禁日なので近場河川と行くことにした。南川はあまりよくなさそうだし、美山はまだ年券だし・・・、初めての野洲川。正福寺付近にオトリ店がありそこで、券とオトリを購入。まずは近くの所へ行ってみる。結果的に場所の選定ミス。殆どが粘土質の川底で石があってもあまり色が良くない。上下歩き回ったが釣り人の居ないところはポイント的には掛かりそうも無い。結局、場所移動することにして上流側へ向かい良さそうなポイントに入ってみたが、ここも殆ど食み痕がみれない。掛かったのは1尾のみで。もうクタクタで帰ろうかとも思ったが、最後は最下流の橋へ行ってみて駄目なら諦めがつくだろう。中郡橋の下流へなんとか行けそうな道があったので入ってみる。何と、石は磨けており食み痕ははっきりと確認できた。早速、始めてみるとなじんだ頃に掛かる。周辺で掛かるが風が強く、肌寒い。どんぶりもありあまり乗り切れなかった釣り。条件がよければ結構いけるのではと感じたが・・・今日はかなり疲れた。帰りも渋滞でさらに疲れた。



No. 010

釣行月日: 2009年06月21日(日) 05:30~18:00

天気: くもり後晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 薄濁り

釣果: 31尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

いよいよ上桂川の解禁。朝家を出る時は雨が降っていて一日雨の釣りかな~なんて思いながら岡本オトリ店に向かう。オトリを購入後、昨年入ったところには人が見えるので日吉橋へ行ってみることにした。橋の上流には誰も居ない。まあ、とりあえず竿を出すことに。下の人が釣ってるのをみながらゆっくりと始めることに。オトリを出すこと1分も経たないのに即掛かる。次も掛かるがエラ付近に掛かりオトリに使えるそうも無い。再度同じオトリでやるが次が来ない。オトリをちょっと上に引き上げた瞬間、目印が上流へ走る・・・やっと来たと思えば溜めようとするけどもどんどん上流へ走る。尺には時期はまだ早いし・・・、もしや?と不安が頭の中をよぎる。不安が的中、ニゴイだったのだ。切らすとオトリが・・・、ナイロン02ながら溜めて時間かけて陸に何とか引き上げられた。オトリ無事回収。その後掛かりそうもないので、場所を移動。弓楸小橋の下流が空いたので入る。チャラ瀬では掛からず。ず~と下流へ移動して7尾追加。ここも見切りさらに上流へ。すし米の下を見ると、中ちゃん親子が居たのでとりあえず行ってみる。話を聞くと昼頃だったが皆40前後掛けたとのこと。入れそうな場所でやるがビリしか掛からず。釣り人が徐々に減ってきて、人のやった所であるが攻めて何とか30尾超えることができた。まあ、こんなもんかね。結構掛かった人もいるそうだが、自分としてはそれなりに楽しめた解禁だった。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.011

釣行月日: 2009年06月27日(土) 07:40~18:00
 天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 19℃
 河川: 上桂川(京都府)
 水況: 濁り無し

釣果: 37尾, サイズ: 10cm~21cm
 仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90
 仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

来週の報知の予選の下見を兼ねて中野橋から始める。連日入ってるだろうからなかなか掛からず、流芯では殆ど掛からず流れの際で掛かる。どちらかといえば手前はあまり攻められてないせいか掛かった。9尾で場所を移動。江口橋から見ると群れ鮎が見えたのでとりあえず竿を出してみるとことにしたが、散ってしまって釣りどころでない。ギリ1尾で終了。次は山稜橋へ移動。何時もの如く人が多い。空いているところで細かく攻めてポツポツであるが掛かる。かなりスペースを空けてやっても下から釣り人が真後ろに来るくらいまで来て何を考えてるんだろという良くわからん人もいてカリカリ。掛かるには掛かるが小さいなあ。



No.012

釣行月日: 2009年06月28日(日) 08:00~18:20
 天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃
 河川: 上桂川(京都府)
 水況: 濁り無し, ほぼ平水

釣果: 42尾, サイズ: 10cm~18cm
 仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日も下見で山国神社裏に入る。瀬には既に数人が竿を出している。瀬肩に群れ鮎が見えたのでまずはそこで始める。なかなか掛からず、ようやく群れで掛かるが小さい。でも小さいながらもオトリにしないと続かない。どうも根掛が多く釣り辛い、10尾程掛けて下流へ移動する。瀬肩には誰も居なかったので早速オトリを放つ。即掛かる。次も掛かる。次はバレる。周辺を探ったけどもそんなには掛からなかった。この時点で22尾。場所移動しようと殿橋に入ろうかとも思ったが人も居たしあまり掛かりそうも無いので、すし米下に行ってみる。意外と人も少なく目の前の瀬で始める。掛かっても小さく根掛かりも多発でペースに乗り切れない。中ちゃんがスポニチの予選から帰ってきて様子を見に来たようで、ぼったり会う。2位で予選通過とのこと。最後群れ鮎を狙って40尾を超えるまでやってみた。夕方になるとかなりの数が出てくるのだ。それにしても、解禁から一週間になるけどもかなり厳しくなった。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.013

釣行月日: 2009年07月02日(木) 08:40~15:40

天気: くもり, 気温: ?, 水温: 18.5℃

河川: 細野川, 上桂川 (京都府)

水況: 濁有り

釣果: 5尾, サイズ: 14cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90, 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175, 複合メタル0.05

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

報知予選。今日は無理で延期と思いつつ会場へ向かう。本流は駄目で、支流の細野川へ変更となった。

エリアは2番となる。まったくポイントは判らずとりあえず歩きながら探す。

竿は一本畳んで短くしてやることにした。掛かりそうなポイントを見つけられず、数十分はまったく掛からず。少し深い所があり鮎が溜まりそうなどところに見えたのでやってみる。群れらしき鮎がかけ上がりで掛かった。○は逃れられた。次は流れの際で黄色い鮎が掛かる。しかし、その後掛からず終了間際に2尾追加して4尾掛けたが通過ならず。

終了後、知り合いらで山稜橋に行くが1尾掛かっただけ。



No.014

釣行月日: 2009年07月04日(土) 08:00~17:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 上桂川 (京都府)

水況: 高水

釣果: 14尾, サイズ: 7cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90

仕掛(糸): ナイロン0.175, 複合メタル0.05

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

吉野橋から始める。昨年と比べ鮎が見えない。高水と水温低下で居場所が違うのか?歩き回って2尾のみ。

中野橋に移動して6尾追加。山稜橋に移動して4尾。すし米下に移動しても1尾も追加できず。ポイントには人が居るので場所移動。見てまわるが釣り人が多いので柏原に行くが2尾追加したのみ。今日は全体的に掛が良くなくポイントが見えてこない。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.015

釣行月日: 2009年07月05日(日) 07:50~17:40

天気: くもり, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: やや高水

釣果: 32尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

再度、黒田の川間橋へ挑戦しに行く。昨年掛かった辺りを攻めてみたが空引きでかすりもしなかった。一時間程歩き回ってゼロ。昨日購入したサラの養殖が1尾残っていたので、場所を移動してやることに。下へ車を走らせるが下野カップもあり釣り人多し。しかし、入るところないなあ。江口橋まで来てしまった。幸いなことに空いていたので群れ鮎相手に過ごすことにしよう。天然は弱って使えそうもないので養殖に頑張ってもらわねば。群れを見つけてはその中に潜り込ませ待つ戦法。待望の当たりで獲り込めたのは良かったが目に掛かり使えない。再度、養殖に頑張ってもらうことにし、何とか天然に変えることが出来、サイクルができるかとやれやれ。追うような鮎は殆ど無く群れ鮎の釣りに徹して何とか30尾を超えることができた。こういう釣りもあるのかなと終わってみればの話。



No.016

釣行月日: 2009年07月11日(土) 08:00~18:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: -----

釣果: 22尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

神吉支部の大会。すし米周辺で行われた。増水後鮎の見え方が変わった様に思われる。群れ鮎も午前中はあまり見えず掛かりも悪い様だった。1尾ばらしがあつたが4尾と貧果と最悪。

昼食後、群れ鮎を求めてやるが泳がせが思うように行かず釣果も伸びなかった。明日はどうなることやら。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.017

釣行月日: 2009年07月12日(日) 08:00~18:30
天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 21℃
河川: 上桂川(京都府)

水況: 平水
釣果: 33尾, サイズ: 12cm~18cm
仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
仕掛(糸): ナイロン0.175
仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨日の午後からのポイントが気になるので、こもちゃんがやっていた所を一日粘ってやってみた。群れ鮎が対象だが掛かるペースが非常に遅く苦勞した。照りこめばもう少し面白かったかもしれない。中ちゃんはいつものトロで鯰にやられたとか。親子共27尾だとか!? 今日も釣り人が多かった。



No.018

釣行月日: 2009年07月18日(土) 06:30~18:00
天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃
河川: 古座川(和歌山県)

水況: 平水, 濁無し
釣果: 50尾, サイズ: 13cm~22cm
仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG
仕掛(糸): ナイロン0.175
仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

古座川が気になるので釣行してみることに。ちょっと早めに出かけたが到着が早過ぎるかなと思いながら福池オトリ店に到着した。おや? 倶楽部の車が2台止まっている。まあ不思議な事だ。僕は日券を買ったが後になって後悔することに・・・。皆、思い思いのポイントへ向かう。自分は洞尾に入ってみることにする。まずは石の寄れにオトリを入れて暫く待つ。するとグリグリとするので糸を張るとプツン! 糸が切れてしまった。早々トラブル。オトリあと一尾、今度切らしたらまた買いに行かねばならないで瀬肩の上がりで慎重にオトリを泳がせる。何とか天然を確保できペースは良くないがポツリポツリと掛かる。どちらかといえば瀬の方が良かった気がする。型も平均18cmで黄色い鮎が殆どで引きを十分堪能できた。9月にはもっと掛かる気がする。今年は良さそうだ。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.019

釣行月日: 2009年07月19日(日) 07:05~17:15
 天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃
 河川: 四村川・大塔川 (和歌山県)

水況: 若干高め
 釣果: 36尾, サイズ: 14cm~20cm
 仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:
 熊野川本流はまだ良くないと思い支流へ行くことにした。前回四村川の新ポイントがその後どうなったか確かめに行く。水位が高めで良さそうな雰囲気。朝一, ガスがかかり幻想的。オトリを出してもなく掛かる。一時間半までは良いペースで掛かりこれなら50尾はいけるかもと期待していた。しかし何だか濁りが出てきてるような気がした。やってくるうちに濁りがきつくなり大塔川へ場所移動。この前のトロ場でやってみようと竿を出すのが強く竿を持つのが精一杯。暫くしてたら風も弱まってきた。ようやくポツリポツリと掛かる。川湯温泉辺りは川遊びをする人が多い。もう少し釣り人のことを考えて一定の距離を保って欲しいものだ。



No.020

釣行月日: 2009年07月20日(月) 08:10~17:00
 天気: くもり, 気温: ?, 水温: 21.5℃
 河川: 上桂川 (京都府)

水況: やや高水
 釣果: 22尾, サイズ: 7cm~17cm
 仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:
 第2回チャリティー鮎友釣り大会in上桂川に, こもちゃんの代わりに参加させて頂いた。京都HFC北井組のチームで自分はBブロックで中江橋周辺とさせて頂く。No.33で中江橋上流のトロに3人?ならんで居たのでその上へ入る。石の寄れ周辺で6尾。掛からなくなったので下流へ移動したが1尾だけ。もう一度上流へ戻ったが人が入っていたので少し上流の手前の石の周辺で3尾で終了。オトリ込みの12尾だった。チームとしては26位。最後お楽しみ抽選会で自転車があたりラッキー。大会終了後, 2時過ぎになるが5時まで上流の瀬で12尾。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.021

釣行月日: 2009年07月24日(金) 08:00~17:30

天気: くもり, 気温: ?, 水温: 21.5℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 38尾, サイズ: 10cm~21cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

上桂川漁協の大会で神吉支部として参加。山稜橋上流に入る。一尾めがすぐ来たと思ったが竿を立てると逆針が外れていた。再度挑戦してみると次は掛かる。4尾掛かったところで場所移動。橋のすぐ上が空いていたので入るが根掛かりで外そうと糸を張ってたら切れてしまう。仕方無しにこの場所を諦め橋のすぐ下へ移動。ここで掛かったのは3尾が鮎が付いている。よく見ると先ほど損失したオトリに鮎が掛かって、そのオトリに掛かっていた。勿論その仕掛けは自分のものであった。ラッキーなことに切れたオトリに掛かっていた野鮎で大物賞(21.8cm)となった。数はオトリ込みの8尾。

神吉支部では3位内に入ることはできなかった。昼食後、中江橋に中ちゃん親子と行く。

自分は32尾、中ちゃんは30尾と昼から良く掛かった。



No.022

釣行月日: 2009年07月25日(土) 08:10~17:40

天気: 雨後くもり, 気温: ?, 水温: 22.5℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: やや高水

釣果: 25尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

山国神社裏からスタート。風が強くやり辛い。さらに雨がきつく降ってきて全身ずぶ濡れ。昼までに10尾。昼になってまたきつくなってきたので、栃本のオトリ店まで戻る。もう止めて帰ろうかとも思った。栃本に来ると明るくなって雨も上がっている。昼食後、再度山国地区の中江橋に入ってみる。下流のチャラ瀬でやる。ポツリポツリと掛かる。水量としては申し分無いけどイマイチ追いが良くない。バラシがあり数が伸びず。15尾の追加で合計25尾。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.023

釣行月日: 2009年07月26日(日) 07:40~11:30
 天気: くもり後雨, 気温: ?, 水温: 20.5℃
 河川: 上桂川(京都府)
 水況: 平水, 濁無し後増水赤濁り
 釣果: 8尾, サイズ: 15cm~21cm
 仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90
 仕掛(糸): ナイロン0.15
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

中野橋から始める。オトリがポイントに行くなり掛かる。次もすぐ掛かり20cmを超える良型が掛かる。バラシの後もう一尾掛かる。その後掛かりそうも無いので歩きながらポイントを探ったが掛かりそうも無いので場所移動。中江橋に入ってみると意外と釣り人が少ない。チャラ瀬ではテンポ良く掛かる。しかしバレが多発。そうしてるうちに、風が出てきて雨が降り出す。暫くしてたら雷も鳴り出し雨足もきつくなってきた。これはもう無理と判断し、小雨になってきたところで帰る。



No.024

釣行月日: 2009年08月01日(土) 08:00~15:45
 天気: くもり後雨後くもり, 気温: ?, 水温: 20℃
 河川: 上桂川(京都府)
 水況: 高水
 釣果: 9尾, サイズ: 15cm~21cm
 仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90
 仕掛(糸): ナイロン0.175, 複合メタル0.05
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

山国神社から始めるが雷の音が遠くから聞こえてくる。雨も降り出して来る。3尾掛けた後中江橋へ移動。1尾追加し暫くしてたら周りが暗くなってきて雷もなっているので止める。車に戻るとさらに雨がきつくなってきた。雨が小雨なるまで車で待機。オトリ店に戻り昼飯にしてから帰ろうと思っていた。雨が止むまで待っていると明るくなってきて日差しも出てくるようになってきた。とりあえず上流へ行ってみて駄目だったら帰ろうと車を走らせる。江口橋では何とか竿が出せそうだし入ってみる。結構良型が掛かり引きを堪能。そうしてるうちに水位が上がってきてゴミもかなり流れてきたところで止める。オトリ缶まで戻ったら無い。流されたのか? 仕方無しに曳舟にブクを付けてオトリ店まで走る。何とか6尾は無事であった。今日も雨に祟られた。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No. 025

釣行月日: 2009年08月04日(火) 06:40~18:00

天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 有田川(和歌山県)

水況: 高水, 薄濁り

釣果: 40尾, サイズ: 13cm~24cm

仕掛(竿): 競技SP T早瀬抜100SE, 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): 複合メタル0.05

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

好天気に釣りをしたいと今日しか予定がとれそうも無いので、急遽有田川へ行くことに。殿に状況は聞いているので仕掛けも揃えてと。久しぶりのボダイ下流。朝早く行くけどボダイには先客が・・・

自分がやろうと思うポイントではなかったの運良く入れる。早速、オトリを泳がせるが何時もの所では掛からない。朝早いからかとブツブツ言いながらここぞという所を攻めるが掛かる気配が無い。錘を付けて止め気味にしたら掛かる。噂通りデカイ。入れ掛かりは無いもののポツリポツリと掛かる。

イマイチ掛かるポイントが掴めず。3時過ぎで31尾。もう自分では攻めるポイントはやりつくし限界と思い、場所移動。新金屋大橋に行く。下流は両岸からやっている。上流は水遊びの人らで釣り人が居ない。釣り人の居ない上流へ入る。鮎は見えるがなかなか掛からず。40尾まで頑張ってみた。

鼻環から外れ、掛かり鮎しか付いてないのが2回、バレ多数とあまり納得の行く釣りではなかった。課題多し。



No. 026

釣行月日: 2009年08月08日(土) 07:20~17:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: *****

水況: 薄濁り

釣果: 47尾, サイズ: 6cm~16cm

仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

Sさんと遠征釣行スタート。藤吉さんも遠征釣行中で今日落ち合う事に。

前日の増水で石に泥が被り食み痕がまばらな状態で掛かるか疑心暗鬼。

何処で掛かるか探りの状態。何とか掛かるがオトリに何とか出来るかなというところ。

午前中22尾, 午後25尾で47尾と結果的にはまずまず。Sさん12尾。午後から藤吉さん24尾。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.027

釣行月日: 2009年08月09日(日) 06:50~17:30

天気: くもり, 気温: ?, 水温: 18.5℃

河川: *****

水況: 薄濁り

釣果: 50尾, サイズ: 6cm~19cm

仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

何処も雨で行く河川があまり無い。オトリ店に行くとき濁っているではないか。話によると上流で雨が降ったらしい。隣の河川が行けるとのことで昨日藤吉さんが教えてくれたポイントへ行く。海が迫っていて不思議な所。ここも鮎は小さくオトリ操作が難しい。続々と釣り人がやって来てしまいいは観光バスで来るのにはビックリ。昼間でやって20尾。人の多さに嫌気が差し、藤吉さんが偵察してくれて、今朝濁っていた河川が行けそうなので、移動することにした。流石に人は少なくのんびり釣りが出来た。最初は掛かるポイントや泳がせのパターンが掴めず苦戦したが、少しずつ掛かってきて30尾掛かった。この河川にしては型が比較的良かった。良い天気のでやりたいのだが暫くは望めそうもない。



No.028

釣行月日: 2009年08月10日(月) 11:50~16:50

天気: 雨後くもり後晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: *****

水況: 薄濁り, 若干高水

釣果: 23尾, サイズ: 5cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

宿を出る時雨が降っている。現地に行くと赤濁りで本日終了。今日で遠征は終わりか? オトリ缶と舟が流されてはいけないと思い、鮎をしめる。藤吉さんを待つことにする。1時間程過ぎた頃にオトリ店で無理だねと話をしていた。昨日お会いした関東から来られてる人もオトリをと来られる。何処か行くところがあるのか? 聞くと・・・。
お隣の県の川では行けるのではと。宿からの道中に2河川明らかに濁りの少ない川があったので、藤吉さんに道案内をお願いし、たまたま藤吉さんのオトリ缶がオトリ店の水路に浸かっていたのでそのオトリを使わせて頂く事に。到着すると、石は磨けており掛かるとウキウキしながら早速支度を。オトリを泳がせて数回流れを泳がせると黄色い鮎が来た。入れ掛かりは無いものそれなりに3人はほぼ午後からの釣りになるけど20尾前後と釣りを堪能出来た。元々釣りを諦めたのが、竿が出せただけでも良かったのにそれ以上に掛かり皆満足。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.029

釣行月日: 2009年08月11日(火) 09:50~17:40

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 21.5℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 27尾, サイズ: 15cm~18cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨日の遠征と台風の影響で雨が降ると思い釣り休みの予定だった。しかし晴れ間が差すしとりあえず行ってみようと急遽変更。今日のはんびりと下流で釣りをするつもりだったが、オトリ店で注文が入ってるからと数を稼ぐために山国地区に変更。殿橋上流で10尾, 山国神社で9尾, 中江橋で8尾の合計27尾。

10尾程ケラレやバレがあり釣果が今ひとつ伸びなかった。天候が良くなくチャラ・トロで掛かりにくい。



No.030

釣行月日: 2009年08月12日(水) 08:15~17:40

天気: くもり後晴, 気温: ?, 水温: 21.5℃

河川: 安曇川・広瀬(滋賀県)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 91尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

常案橋に着くともう既に釣り人で満員の様。下流へ入ることに。しかし、ポイントには釣り人が入っている。下流へ歩いたが養殖で出来る場所と粘って数が出そうな所はなかなか無さそう。分流で人がまだ入って居なかったのでそこに入る。かなりきつい流れの瀬ではあるが中でも流れの筋で緩やかな所で天然に変えてやる。釣り人が多く場所移動できそうも無いので流れの筋や立て竿, ベタ竿, 立て引き, 横引きいろんな操作をやりつくしたこともありそこそこ掛けることができた。まだ辺地の浅場では追いが殆ど無かった。まだ7月頃のポイントの様だった。バレやケラレ等を含めると100は超えている。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.031

釣行月日: 2009年08月14日(金) 08:15~18:30

天気: くもり後晴, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: *****

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 39尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠9m

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨日, 入る河川の下見で食み痕を確認しているので掛かると思い初めての河川に入る。ここは鑑札が要らない所。波立ちにオトリを送り込むなり掛かるが外れる。再度逆針を打ち直してオトリを再送。次は何とか獲り込めた。2尾掛かり場所を変えながら釣るスタイル。掛かるポイントとそうでない所で大きな差がありその見極めが難しい。時間をかけてオトリを泳がせてみなければ判らない。次回では効率良く探れそうだが何時行けるかは未定。

殆ど釣り人が居ないのでゆったりと楽しめるのが良い。掛かる鮎は全体的に幅が広い所が特徴。



No.032

釣行月日: 2009年08月15日(土) 08:20~17:40

天気: 晴後くもり, 気温: ?, 水温: 19.5℃

河川: *****

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 32尾, サイズ: 10cm~21cm

仕掛(竿): 巧匠9m

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日は藤吉さんと次郎長さんも参加されて別の河川(鑑札不要河川)へ行くことにした。いつも雨に祟られて何時かは晴の日に釣りが出来たらと願っていた。今日は晴で気分ものりのりだけど, 高水から水が引いてまだ落ち着いてない感じ。掛かったのは全体に黄色から茶色の色した石で掛かった様に感じる。獲り込んだのは32尾だったが10尾以上ケラレやバレで釣果が伸びなかった。しかし, 鮎の当たりと引きには十分堪能できた。垢が十分付けば面白くなりそう。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.033

釣行月日: 2009年08月16日(日) 09:00~17:30

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 17尾, サイズ: 15cm~23cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): 複合メタル0.05, ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

恐らく今日が上桂川釣行は最終日となるだろう。江口橋へ行く。まずは上流の淵のかけ上りをやる。1尾来たものの次が来ず。チャラで2尾。次は橋の下へ行き群れ鮎の釣り。掛かる鮎は大きい。群れが見えなくなる時間が長く効率が悪い。掛かるペースも遅くなったので10尾となったところで場所移動。

山国地区は人はそんなに多くはないが川遊びをする人がいて釣りにならないと判断し下流へ向かう。魚ヶ淵でやるが根掛りで損失。早々に諦め下流へ行く。日吉橋も川遊びの人がいてやる気無し。最後は岡本オトリ店の前に向かう。もう4時を頃だったか下流の淵の所で1尾掛かったが根掛かりで損失。オトリ店の前で良型8尾入れ掛かりで獲り込みが大変。



No.034

釣行月日: 2009年08月22日(土) 06:00~17:50

天気: くもり時々晴時々雨, 気温: ?, 水温: 22.5℃

河川: 熊野川(和歌山県)

水況: 減水気味, 濁無し

釣果: 70尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

水が引いて垢が付き始めて良さそうに思い出かけた。何時もより早めに出かける。人も多そうな予感。

谷口オトリ店でオトリを購入し情報を聞く。昨日はあまり良くなかったと、また水もかなり引いてきたとか。

ようやく本流で竿が出せると思うと嬉しくなる。オトリがちよっと大きすぎるかな~ とオトリを離すと下に下る、上げるとビリ鮎が掛かっていたが、オトリには使えず。最初は4尾程は順調に掛かったがあとが来ず、2時間空白の時間が過ぎた。掛かるポイントを歩きながら探す。浅場が良い様で入掛かりはないもののポツリポツリと掛かる。夕方68尾であと2尾で70尾となるので頑張ることにした。こういう時はヘチ際としつこく攻め5時50分に70尾となったので本日納竿。釣り人多く、ポイントもある程度限られているので厳しい。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.035

釣行月日: 2009年08月23日(日) 06:50~17:20

天気: 晴後くもり, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水気味, 濁無し

釣果: 85尾, サイズ: 11cm~21cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, Mチューン: 6.5号3本錨

内容:

今日も同じ場所に行く。かなり久しぶりに朝から青空で清々しい。既に二人竿を出していた。自分がやろうと思うポイントでなかったので早速そのポイントに行く。昨日と違って掛かる場所を探さなくても良いので落ち着いて出来る。やはり直ぐに掛かり4, 5尾程掛かったところで目印が逆光で見辛いので反対側に移動する。入掛かりは無いものの順調に掛かって昼までに35尾。午後からは岸に近い超浅場も時々探っては掛けて反対側の流れで掛けてとポイントを変えながらやってみた。垢も付いてきて昨日よりも黄色くなっている。水温も上がってきて当たりもきつくなってきた。午後からは50尾と予想外に掛かった。本筋を狙うよりは浅場を狙ったほうが勝負は早いようだ。全体に鮎の幅が細い。



No.036

釣行月日: 2009年08月29日(土) 06:30~17:30

天気: くもり時々晴後雨, 気温: ?, 水温: 22.5℃

河川: 四村川・大塔川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 41尾, サイズ: 12cm~22cm

仕掛(竿): 巧匠9m

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

釣り人が多いと思われるので支流のほうへ逃げることにした。四村川だが前回とは違ってかなりの減水。河原に下りて本流へ変更しようかとも考えた。淵の下の浅場に群れ鮎が見えたのでとりあえずやってみることに。何とか群れに入ってくれてなじんだ頃に掛かる。次は別の群れが見えたのでそこへ入ると掛かるが小さい。周辺を探ったが掛からず。上流へ歩いてみる。トコ場に鮎が見えるので泳がせてやると縄張りの鮎が掛かってきた。その周辺で縄張りのありそうな鮎を見つけては掛けるというパターン。水中で見える鮎は小さいけど獲り込むとデカイ。石に巻かれて切れた鮎2尾に、次ぎ掛かった鮎が切れて4尾マイナスになったが、その4尾が塊りになって下へゆっくりと泳いでいるのが見えた。回収しようとオトリ鮎をその塊りに向けてみたが掛からず。ゆっくり後を追っていると川底に沈んだ木の枝に引っ掛かって止まってしまった。しかし、深くてその塊りに届かない。何とかならないか考えた結果、今回使わないだろう10m用の天井糸に4本錨を結び1.5号の錘を付けて塊りに向けて投げ込み引っ掛けて回収できた。マイナス4尾を回収できたのは非常にラッキー。昼過ぎからは大塔川へ行ったがあまり掛からなかった。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.037

釣行月日: 2009年08月30日(日) 06:40~18:10
 天気: 晴後くもり, 気温: ?, 水温: 22.5℃
 河川: 熊野川 (和歌山県)
 水況: 減水, 濁無し
 釣果: 76尾, サイズ: 12cm~21cm
 仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
 仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, Mチューン: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

今日は本流でのびのびと竿を出せ木の枝を心配する必要がない。民宿の常連さんが昨日60尾強掛けたとのことで、行く前に掛かるポイントについて状況を聞いたところ先週の状況よりは良くなっていると感じた。入るポイントは違っても掛かる傾向は凡そ同じであろう。

途中5台程の車が入ってきて人も多そう。泳がせるポイントも人が立つ位置によって掛かる場所も微妙に変わってくる。午前中40尾, 午後から36尾で計76尾だった。



No.038

釣行月日: 2009年08月31日(月) 08:40~18:10
 天気: 晴, 気温: ?, 水温: 23℃
 河川: 熊野川 (和歌山県)
 水況: 減水, 濁無し, 風強い
 釣果: 85尾, サイズ: 13cm~21cm
 仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, Mチューン: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

今日もたぬ菌さんと釣行。同じ場所に行く。流石に平日とあって適度の間隔で対岸に立ったり、横に並んでやる人も居ない。掛かっても近づいてくる人も居ない。ただ釣りにくかったのは台風の影響か一日中強風の中で竿の操作がやりにくく掛かっても獲り込みにも注意が必要だった。ボウズハゼも適度に掛かり鼻環周りの仕掛けが無くなる始末。ボウズハゼが掛かって石に潜ってしまうこともあり取り外しに苦労。午前中は大村屋のご主人?が釣りを見に来られへち際の溜まりに鮎が追いかけっこしているのにビックリされていた。しかし、28尾と昨日自分がやった所は流石に厳しい。遠くに見えるたぬ菌さんの入れ掛かりを見て少し焦る。さらに上流には大村屋で声をかけてくれた方で30尾強だったとか。その方はもう何年前にダイワマスターズ吉野川予選でお会いしていたが、声をかけられるまでは気付かず申し訳なかった。本日掛かった所は他の人も含め、昨日釣り人が多く入ったが掛からなかった所だった。午後からはバレや高切れもあったがトロ場を中心に良型57尾と思ってもよらなかった釣果に満足。一昨日竿上栓を無くしがっかりしていたが、たまたまオトリ缶に曳舟に入った鮎を入れようとしてたら川の中にあっただ。ラッキー!

離れた対岸斜め向かいの人もコンスタントに掛かっていた。垢も十分付いていて掛かる鮎も一週間前に比べると黄色くなっており、いよいよ最盛期に入った様に感じた。あまり動き回らず静かにじっくりと泳がせたほうが良さそう。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.039

釣行月日: 2009年09月05日(土) 07:10~17:50

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 減水, 濁無し, 風強い

釣果: 73尾, サイズ: 10cm~21cm

仕掛(竿): 巧匠9m

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

広瀬と行きたいところだが釣り人が多そうだし網もやってるだろうからまだ人の少ない朽木へ入ることにした。群れ鮎が見えるし中には追い気のあるものもいる。朝トロ、昼トロ、夕瀬で掛かった。鮎も卵・白子を持っているのか太かった。風が強くとトリ操作が殆どできず不満が残る一日だったが、見釣り中心でそれなりに楽しめた。もう錆びが出そうな感じ。



No.040

釣行月日: 2009年09月06日(日) 09:00~17:50

天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 26尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK, トライアンAYU70SV

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

HFCの大会に参加。オトリ配布から上流に入ろうと歩くが人が多くさらに上流へ歩く。水管橋上流までやってきて何とか竿が出せそうなのでやることに。最初の2尾は何とか掛かったがその後が掛からず、ようやく掛かったと思ったら口下に掛かり次に繋がらない。その後掛かりそうも無いので下流へ移動するが1尾掛かっただけ。結局4尾だけ。チームとしては1位だった。午後からは下流へ移動し強風の中22尾とあまり冴えず。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No. 041

釣行月日: 2009年09月12日(土) 06:20~17:30

天気: 曇り時々雨, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 95尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

土曜日は多そうなので早めに入川することにした。谷口オトリ店も早めに開けてくれてたので助かる。情報を仕入れて何時ものところに向かう。それにしてもかなりの減水。慎重にやらないと厳しそう。今回は殆どヘチ狙いでやってみた。掛かりは全般的に良くなく目や腹やエラ等に掛かりオトリの循環にてこずった。午前中は37尾、午後からは58尾と順調に掛かったが人が多いのでオトリ操作に苦勞。夕方は人の居ないところでやると入掛かりだったが三桁まであと5尾となったが時間的に無理だった。



No. 042

釣行月日: 2009年09月13日(日) 06:45~17:30

天気: くもり後晴, 気温: ?, 水温: 21.5℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 107尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

今日も同じ所へ向かう。人が多そうなので対岸に入られた時も考えて場所を選んで入る。最初の1時間12尾と良いペース。だんだんと人が増えてくる。掛けてると対岸に人が入ってきた。上下かなり空いているのになぜ?それも足元から岸よりで掛かるのにどんどん入ってくる。仕方無しに自分の超岸よりを泳がせ少しずつ鮎を追加していく。12:00までに44尾。昼食なのか人が少なくなったので曳舟の鮎をオトリ缶に移しに戻る。ちょっと一服して、今度は人の居ない場所でやることにした。下に一人居たくらい不人気。最初は掛からず根掛かりで川の中に入らないといけなくなり場所を荒らしてしまった。今度は真ん中から両岸を攻めると絶え間なく掛かり続け三桁が頭の中を過ぎる。今年初めての三桁を達成出来た。帰り谷口オトリ店に立ち寄り釣果の報告と掛かった鮎を見てもらった。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No. 043

釣行月日: 2009年09月14日(月) 07:20~18:05

天気: 晴後くもり, 気温: 21.5℃, 水温: 20.5℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 107尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

今日も釣り。記録をとり始めてから800日となる。まずは1000日釣行を目指そう! 何年頃だろうか?

昨日よりは少し遅めに民宿のペコちゃんに挨拶してから出かける。今日は釣り人は少なめでポイント的には何処でもいけそうだが、逆に動き回ってしまい十分な泳がせが出来ないので釣果は落ちそう。まあ50尾掛かればという気持ちでやることに。まずは昨日昼から人が居なくなった所に入る。しかし、どうも掛からない。時間なのか釣り荒れか考えてしまう。まずはオトリを変えないことには始まらないので焦る気を抑えてオトリを慎重に泳がせなるべく糸ふけでオトリを泳がせるように徹してようやく掛かる。昨日までとはテンポ良く掛かってくれない。とりあえず掛かるポイントに移動して何とか10尾位掛かった。この時点で9時頃。そこから少しずつ上流へ移動しながら掛けていく。12:00までに34尾。12:30には41尾となりその後ボウズハゼの猛攻に遭い仕掛けがぐしゃぐしゃ。ちょっと一息を兼ねて曳舟の鮎をオトリ缶に移しに戻る。第二ラウンドは朝一やったところの少し上から始める。座ってゆったりとした釣りをまずしようかとオトリを泳がせる。何故か直ぐに掛かる。次も数メートル泳いだところで掛かる。掛かる掛かるでどうしたものか? しかし、オトリが真ん中に行った辺りで根掛かり。真ん中まで入ってしまった。仕方無しに、その場所から泳がせるとまた掛かり。360度の泳がせで掛けた感じが殆どが上流側で掛かった。ケラレが多発し結果的には66尾の追加で107尾。昨日の釣果を超えることが出来なかった。最後に谷口オトリ店に寄り釣果報告をし、暫し世間話を。鮎シーズンには沢山のお客さんとお話が出来き若さを保てると。



No. 044

釣行月日: 2009年09月19日(土) 09:30~17:30

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 古座川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 31尾, サイズ: 13cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.2, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

福池オトリ店で券とオトリを購入し洞尾に行く。かなりの減水でやり難そう。トロで最初やるが掛からず、下のチャラ瀬で小型が掛かる。しかし、オトリにすると泳ぎが悪く次がなかなか掛からず。先程のトロに戻りやってみるが掛かったのは7尾で11時には場所移動。下流の潤野橋に行く。橋から見ると鮎が見えるので入ることに。風が吹き鏡が涙立つ様になると途端に掛かりだす。カヌーが下ってきてやり難かったがここは辛抱。結局30尾程掛かった。藤吉さんは東京から夜中出られたがかなりの渋滞で17時間かかったとのこと。明日小川でお友達のトシちゃんと一緒に釣行予定。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.045

釣行月日: 2009年09月20日(日) 07:45~17:30

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 21.5℃

河川: 小川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 42尾, サイズ: 14cm~23cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨, チラシー一番きつね改: 8号1本針

内容:

福池オトリ店で券を購入し, 今日には支流の小川に入ることにした。山手の少し下流になるところに入る。最初は中々掛からず苦労したが午前中20尾, 午後からはへち狙いで22尾。黄色い鮎が結構掛かった。釣り人は殆ど見られなかった。



No.046

釣行月日: 2009年09月21日(月) 08:30~17:45

天気: 晴後くもり, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 60尾, サイズ: 13cm~21cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

古座川から移動し少し何時もよりは遅いが今日はかなりの人で賑わいそう。倶楽部の人も後で来られたが釣果はどうだったのだろうか? 午前中は自分も苦戦し12:00まではトラブルもあり9尾と厳しく13:00前まで14尾。オトリ缶まで戻りおにぎり&コーヒーを飲んでから再開。ポイントを変えたこともあり午前中の不調を取り戻せた感じで少しトラブルや仕掛の張替え等で時間のロスもあったが46尾追加できた。黄色い鮎は殆ど掛からなかった。結構荒れてきたように感じる。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No. 047

釣行月日: 2009年09月22日(火) 10:15~17:30

天気: 晴後くもり, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 銚子川 (三重県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 24尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

前々から行ってみたかった河川へ。しかし、釣り人は殆ど見かけない。キャンプや川遊びする人ばかり。堰堤の下流には丁度良い大きさの石がぎっしり詰まっておりとあえず入ってみることにした。鮎はあまり見えず、ボウズハゼが石にへばりついているのが見られる。早速オトリを泳がせると嫌な予感が的中しボウズハゼ。掛かるんか不安になってきた。今度掛かったのは鮎であった。その後ボウズハゼは良く掛かる。自分は2時間程で10尾。他の2人はボウズハゼの猛攻でオトリ代わらず。昼過ぎには場所移動。場所によっては黄色い鮎が掛かるが同じところでは次が来ない。掛かる鮎は貴重であり獲り込みに慎重になってしまう。ようやく掛かるところが見えてきた感じである。水の透明度はかなり良い。無風ではトロ場は鏡になるので風が吹いて波立った方が釣りやすい。



No. 048

釣行月日: 2009年09月23日(水) 06:50~17:30

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 71尾, サイズ: 13cm~21cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

シルバーウィーク最終日で5日連続釣行となる。彼岸花が咲き金木犀がほのかに匂う様に感じられるようになってきた。ススキも出てきて鮎ももうそろそろ終盤になりつつある。今日も一日たっぷり川に浸かろうと早朝に向かう。ヘチ際を中心に攻めてみたが良く掛かった時のことを考えると、何回も流さないと掛かってこない。かなり厳しくなってきた。午前中は33尾、午後からは38尾だった。同行者は32尾とのこと。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No. 049

釣行月日: 2009年09月26日(土) 09:10~15:30
 天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 21℃
 河川: 有田川 (和歌山県)
 水況: 減水, 濁無し
 釣果: 21尾, サイズ: 15cm~23cm
 仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90
 仕掛(糸): ナイロン0.2
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

倶楽部の大会で参加。かなりの減水と思ってたけど意外や自分には丁度良い水位の様に感じた。分流の細い流れから始める。天然に変えるのにそう時間は掛からなかった。次はなかなか掛からず掛かってもバレる。バレが目立ち数が伸びず。結局この分流では4尾。天然が確保できたので本命ポイントへ。しかし、川の様子が変わっていたが面影はある。小石底であるがかけ上りを狙って攻める。何時もならトロで掛かるけど今年は掛からない。何かが違うきがしてならない。絞込みの途中に大岩がありその周辺に鮎が見える。泳がせてみるが気が焦るだけで掛からない。糸ふけをあまりとっていなかったのが原因かオトリの泳ぎが不自然で掛からないのだろう。それはいっきりオバセをかけるとオトリが川底を水平にして上流へ登ろうとしたところを野鮎が追ってきた。結構な良型だった。オトリが替わると次はすぐ掛かってくれた。結局その周辺しか掛からず21尾。厳しいと思っていたが数量もトップ、ポイントもトップで優勝。久しぶりの優勝で嬉しさ倍増。



No. 050

釣行月日: 2009年09月27日(日) 09:00~17:30
 天気: 晴後曇り, 気温: ?, 水温: 22℃
 河川: 熊野川 (和歌山県)
 水況: 減水, 濁無し, 風強い
 釣果: 57尾, サイズ: 7cm~19cm
 仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
 仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, Mチューン: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

二人の同行者で有田から熊野に向かう。谷口オトリ店でオトリを購入後ポイントへ向かう。先週程の混雑は無いが水が少なくなって露出する石が増えてきた。石の色も悪くなってきた気がする。日々厳しくなっていており自分が攻める所は連続で掛からず、辛抱の泳がせをしないと掛かってこない。これからは一匹が貴重となってくるだろう。同行者は45, 39尾であった。皆平均以上の釣果の様に見える。風が強く引き抜きで手元まで飛んでこないことがあり、その損失はオトリの循環を悪くしてしまう。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.051

釣行月日: 2009年10月02日(金) 07:30~15:30

天気: 雨, 気温: ?, 水温: 21.5℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 高水

釣果: 33尾, サイズ: 14cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

日曜日は鮎太郎の誕生日となるため、金・土で九州釣行を考えていたが、雨の予報で急遽熊野川へ変更。谷口オトリ店で話をしたら、お客さんがみえ同じ京都から来られてるとか。鮎のブローチをママにプレゼントされていた。ママは上機嫌でさらに会話が進む。ネクタイピンも作られており、幸運なことに頂ける事になった(感謝)。西脇さんという方でトロフィーやカップなどを作られておられるそうだ。谷口オトリ店で問い合わせれば限定で購入できるかも!? オトリ4尾くらいの価格かな? この鮎の型は美山川の橋にあるものさうだ。昼頃から雨足がきつくなり水嵩も増してきて今まで出していた石も水に浸かってしまうほど。早々に切り上げることにした。明日の釣りは不可能かもしれない。本宮大社参りでもして帰ろうか?



No.052

釣行月日: 2009年10月03日(土) 09:00~17:30

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 高水, 笹濁り

釣果: 24尾, サイズ: 15cm~19cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): 複合メタル0.05, メタル0.02, ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨日の夜も雨で今日は駄目だろうとゆっくりとできる。大村屋を出ようとしてたら主人のヒロくんが川を見に出かけてるという。戻ってくるまで待つことにする。戻って来られ状況を聞くと大塔の出合から上流の本流は濁りが殆どないという。本宮大社か道の駅周辺かなということだ。谷口オトリ店でオトリを購入し、コンビニ?の自販機で100円のお茶とコーヒーを購入。すると誰か名前をいってるけど・・・?

おや、先日大村屋でお会いした方々だった。籠釣(さびき)のほうが良いかなあ、なんて話を・・・。まずは本宮大社に行ってみると既に様に釣り人が竿を出していた。次は道の駅の周辺へ行ってみると此処も良さそうなポイントには釣り人がいた。過去の経験で高水でも掛かったこともあり、何時もの所へいってみる。流石に人は居ない。仕掛けをセットし流れと流れの無い境辺りを泳がせてみる。掛かるのだろうか? 時間だけが過ぎていく。しかし、目印がふわ〜と浮く様になり上げてみると掛かっていた。小ぶりの鮎。その後3尾程掛かるがどうもポイントが見えてこない。ポチポチと人が入ってくる。ゴミが流れてきて糸に絡むのでナイロンに張り替える。変えて正解!? オトリが良く泳ぐが掛からないので、気になる第二ポイントへ行く。何時もはトロなのだが流れが出て押しが強くなっている。脇で掛かる。結局、錘を付けてベタで引けば掛かることが4時頃に判った。掛かる鮎の殆どが黄色だった。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No.053

釣行月日: 2009年10月10日(土) 08:40~17:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 16.5℃

河川: 大塔川・四村川 (和歌山県)

水況: 薄濁り, 高水

釣果: 7尾, サイズ: 16cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

台風18号の影響で本流は濁りが有り水が高く無理。朝の気温が低くかなり寒かった。谷口オトリ店では若干残ってたので予約入手が出来、これで鮎は無くなった。このような状態では鮎を仕入れるのに悩むところだろう。支流は殆ど濁りは無く水は高い。何処に入るかと川を見てたら鮎が大石の周辺で食んでるのが見られた。早速準備し入川。1尾めは直ぐに掛かりこれはいけると期待したがそれ以降は厳しく場所を色々変えてみたが駄目であった。川の変化に鮎がまだ落ちていないようだ。トロのヘチの大石狙いが良かった。



No.054

釣行月日: 2009年10月11日(日) 09:30~16:50

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 16℃

河川: 大塔川・四村川 (和歌山県)

水況: 濁り殆ど無し

釣果: 7尾, サイズ: 15cm~18cm

仕掛(竿): 競技SP T早瀬抜100SE, VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

場所も良さそうな所が無さそうだし昨日と同じ場所から始める。1尾めはそんなに時間がかからず掛かる。それからは掛からず、ウロウロしても掛からず。流れのある所で2尾追加しただけ。14時過ぎにはもう場所的にやる所もなくなったので場所移動。左岸の際が黒く垢が残ってそうなので入ることにした。川の状態と水温低下もあつてか何処も同じくなかなか掛からず。非常に難しく辛抱のいる釣りだ。朝夕は寒くてやる気も半減してくる。



2009年版 [釣行回数: 56回 平均釣果: 40.2尾 総釣果: 2,253尾 1日最高釣果: 107尾 最長寸: 25cm]

No. 055

釣行月日: 2009年10月12日(月) 09:20~16:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 16.5℃

河川: 四村川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁無し

釣果: 15尾, サイズ: 15cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95, VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

谷口オトリ店の情報と大村屋のヒロ君の情報を参考にさせて頂く。金ちゃんが昨日から大塔川で竿を出されて、夜は大村屋で11時前まで釣談義・・・。どうも金ちゃんは四村川の桧葉というところに行くらしい。

連休最後で今年の釣行も最後! ?のつもりで大村屋を後にする。

藤吉さんらは今日は帰られるそうなので釣りはされない。

僕ら二人は昨日の午後に入った所に入るが昼までやっても掛からず。今日は○で終わるのか? 最後の望みをかけ二人なら入れそうなので以前見釣りで掛けてた所に行ってみる。自分は一目散にトロに行ってみる。魚影が何とか確認できたので泳がせてみる。ポイントに行くが鮎が見えないな~と呟いていたらキラリと光る。まさかの待望の1尾。こんなに嬉しいことはなかなかない。貴重な1尾。その周辺で2尾掛かる。鮎も活性がないのか泳ぎも弱くポイントまでなかなか泳いでくれない。小石が流され全体的に対岸側には大石が出てきて以前よりは良くなった。また垢が残ってるところもあり黄色い鮎も掛かりツ抜けができ台風後でありながら十分満足できた。瀬でも掛かり15尾となったところで止める。高水後の釣りで、今回の釣行は数が出なかったものの掛かった所がどういうポイントだったのかという経験は、今後の釣行に大いにプラスになったと思う。



No. 056

釣行月日: 2009年10月24日(土) 09:00~15:15

天気: くもり後雨, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 熊野川・四村川 (和歌山県)

水況: 減水気味, 濁無し

釣果: 13尾, サイズ: 15cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今年の釣りは止めたはずが、天気も晴の予報で行くことにしてしまった。何時もより遅めに出かける。しかし、トラックの多さにビックリ。谷口オトリ店では既に釣り客が5-6人おられた。京都の西脇さん作の鮎のオブジェが額に入れられ壁に掛けられていた。もう釣りに出かけられてるとの事。金ちゃんも来られてるそうだ。何時もの場所へ向かう。川の中に自転車を立てており暫し見入ってしまう。状況が良ければこの自転車に座って釣りもできるのだが、この時期このような状況では無理か。

全体に垢は無くヘチを中心に泳がせるがオトリ替わらず、泳ぎが悪く掛かる気がしない。早めに諦め支流へ変更。前回よりも水が引き流れも無くなってきて釣りにくそうに感じたが、瀬でオトリが替わりようやく循環ができる様になりポツリポツリと掛かる。掛かる鮎の殆どは群れで釣り難い。流石に今回で終了と感じた。大村屋で釣り人らと食事をしながら鮎談義、どうやら明日は皆サビキ釣りをやるらしい。明日はカメラマンで追いかけてみるか。

先々週もそうだったが、国道沿いの桜並木には花が咲いていた。



2009年版 [釣行回数 : 56回 平均釣果 : 40.2尾 総釣果 : 2,253尾 1日最高釣果 : 107尾 最長寸 : 25cm]